

【別表D】 2026年度 データ・資料一覧表

地震研究所の「公開データベース」<https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/publication/>もご参照ください。

本施設、機器、装置を利用し、実施された研究に関する論文等を発表される場合は、謝辞に「東京大学地震研究所共同利用により援助を受けた」旨記載してください。また、その別刷（PDF、配布元URL情報でも可）又はデータ等は、本研究支援チーム（共同利用担当）に提出してください。

（謝辞記載例：共同利用コード「202X-D-01」のデータ・資料を使用した場合）

【英文】：次のいずれか

- ・ This study was supported by ERI JURP 202X-D-01 in Earthquake Research Institute, the University of Tokyo.
- ・ This study was funded by Earthquake Res. Inst., the University of Tokyo, Joint Research program 202X-D-01.

【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(202X-D-01)の援助を受けました。

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件、データ及び資料に関するURL等	申請期限
2026-D-01 WWSSN地震記象マイクロフィルム/フィッシュ	○古地震・古津波記録委員会（加納 靖之）	要予約。用紙等については予約時に問い合わせを欲しい。 https://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/wwssn/filmlist.html	随時
2026-D-02 歴史地震記象	○古地震・古津波記録委員会（加納 靖之）	原則としてマイクロフィルムを利用。原記録は職員立ち合いのもとで利用すること。 https://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/susu/	随時
2026-D-03 旧測候所報告・古新聞切抜き・国際地震観測報告等	○古地震・古津波記録委員会（加納 靖之）	写真撮影可。ただし、カメラは持ち込むこと。照明・撮影台は備えつけのものを利用可。資料の状態により撮影不可とする場合がある。 旧測候所報告： https://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/record-I/index.html 国際地震観測報告： https://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/record-W/index.html	随時
2026-D-04 観測開発研究センター地震データ	○観測開発研究センター長	大学間の取り決めに基づいて利用すること。	－
2026-D-05 衛星通信等を用いた全国地震観測システムデータ受信利用	○観測開発研究センター長	「衛星通信地震観測システムデータ受信利用規定」に基づいて申請すること。（様式T-1） http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/data_jushin_riyou.htm	－
2026-D-06 国立大学微小地震観測網カタログ(IUNEC)	○日本列島モニタリング研究センター長	震源データはanonymous FTP で利用可。 ftp://ftp.eri.u-tokyo.ac.jp/pub/data/junec/	随時

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件、データ及び資料に関するURL等	申請期限
		検測データは大学間の取り決めに基づいてCDにて提供可。(ただし、担当教員に利用申請を提出のこと)。	
2026-D-07 浅間、伊豆大島、霧島、富士の火山データ	○火山噴火予知研究センター長	事前に担当教員と打ち合わせる事。	随時
2026-D-08 広帯域地震波形データ	○海半球観測研究センター長	特になし。 http://ohpdmc.eri.u-tokyo.ac.jp/dataset/permanent/seismological/index.html	随時
2026-D-09 新J-array地震波形データ	○日本列島モニタリング研究センター長	ホームページから利用可。 http://jarray.eri.u-tokyo.ac.jp/	随時
2026-D-10 1993年日光周辺域合同地震観測データ	○観測開発研究センター長	1993年合同観測参加者。	随時
2026-D-11 強震記録(主として駿河湾、伊豆半島観測網、足柄観測網のデータ)	○古村孝志	https://smsd.eri.u-tokyo.ac.jp/smad/	随時
2026-D-12 歴史地震の古文書及びその解読文	○加納 靖之	利用条件は特になし。 「東京大学地震研究所図書室特別資料データベース」 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/tokubetsu/ のうち、コレクション名02(-1, 2, 3)の地震史料(一部)のオリジナル(複写等)と解読文。目録提供可。	随時
2026-D-13 地球電磁気データベース	○白井嘉哉、小山崇夫、上嶋誠	事前に担当教員と打ち合わせる事。	随時
2026-D-14 八ヶ岳地球電磁気観測所速報データ	○小河 勉	事前に担当教員と打ち合わせる事。	随時
2026-D-16 日本全国空中写真	○図書室	保有枚数：44,999枚 活断層調査や地震・火山・テクトニクスなどの研究のためであること。図書職員に申し出て利用すること。 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/airphoto/shiryoushitu.htm	随時
2026-D-17 津波波形画像データ	○古地震・古津波記録委員会(加納 靖之)	地震研の公開データベースの津波波形画像検索システム https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/tsunamidb/	随時

別表D

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件、データ及び資料に関するURL等	申請期限
		から利用すること。	
2026-D-18 超伝導重力計観測データ	○今西 祐一	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件、データ及び資料に関するURL等	申請期限
2026-D-19 首都直下地震防災・減災特別プロジェクトデータ(2008-2011)	○観測開発研究センター長	事前に担当教員と打ち合わせること。 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/shuto/index.html	随時
2026-D-20 都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクトデータ(2012-2016)	○観測開発研究センター長	事前に担当教員と打ち合わせること。 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/toshi/	随時
2026-D-21 むかしの地震の被害のデジタルデータ	○加納 靖之	位置情報とセットになった家屋被害情報のデジタルデータ。対象となる地震は大正関東地震など。事前に担当教員と打ち合わせること。	随時

【別表F】 2026年度 施設・観測機器・実験装置等一覧表

本表の詳細については共同利用HP (<https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kyodoriyou/>) をご参照ください。

本施設、機器、装置を利用し、実施された研究に関する論文等を発表される場合は、謝辞に「東京大学地震研究所共同利用に

(観測施設)

共同利用コード 及び名称	観測施設に関する情報	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2026-F1-01 油壺地殻変動観測所 鋸山地殻変動観測所 和歌山地震観測所 広島地震観測所 信越地震観測所 富士川地殻変動観測所 室戸地殻変動観測所		○観測開発研究 センター長		—
2026-F1-02 八ヶ岳地球電磁気観測所		○小河 勉	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2026-F1-03 浅間火山観測所 小諸地震火山観測所 伊豆大島火山観測所 霧島火山観測所		○観測開発研究 センター長		—

(野外観測機器等)

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2026-F2-01 衛星通信等を用いた全国 地震観測システムデータ 受信専用装置	http://eoc.eri.u- tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/dat a_jushin_riyou.htm 1 式	○蔵下 英司	設置、設定、維持は利用者 で行うことが条件である が、事前に担当教員と打ち 合わせる。別途、デー タ受信に関する利用申請が 必要。	随時
2026-F2-02 移動用地震観測機器 (衛星・地上テレメータ 装置、地震計、データロ ガー)	http://eoc.eri.u- tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/vsa t_riyou.htm http://eoc.eri.u- tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/chi jo_souti.htm 1 式	○蔵下 英司	担当教員とよく連絡をとる こと。特定共同研究で使 用中は利用できないことがあ る。	随時
2026-F2-04 高精度広帯域MT観測装 置	1)本体部 <i>Metronix社</i> ADU07e観測装置 22 台 ADU08e観測装置 2 台 <i>NTシステムデザイン社</i> ELOG-MT 7 台 ELOG1K 17 台 2)誘導コイル <i>Metronix社</i> MFS06 21 本 MFS07 4 本 MFS06e 22 本 MFS07e 45 本 <i>Phoenix社</i> MTC50 3 本 磁場3成分、電場2成分を測定可能。サンプル	○白井嘉哉、小 山崇夫、上嶋誠	事前に担当教員と打ち合わ せること。共同観測等で使 用中の期間を除く。	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2026-F2-06※ <u>海底地殻熱流量測定装置</u> 一式	複数の温度センサーを取り付けた 1 式 プローブを海底に突き刺すことに この他、別途採取した海底堆積物 1 台 の熱伝導率を測定するための、 「迅速熱伝導率計」(京都電子 QTM-500)も利用可能である。	○木下 正高	同種の装置の使用経験者ま たは共同研究に限る。	随時
2026-F2-07 <u>可搬型広帯域地震観測シ</u> ステム(1)	広帯域地震計：CMG3T, STS2 収録計：REFTEK130 合計 24 セット	○一瀬 建日、竹 尾明子	取得したデータは、観測終 了後一定期間(2~3年)の 後、地震研究所・海半球観 測研究センター・データセ ンターから公開することと する。 事前に担当教員と打ち合わ せること。	随時
2026-F2-08※ <u>可搬型広帯域地震観測シ</u> ステム(2)	ナネメトリクス社(カナダ) 14 台 広帯域地震計 Trillium120PA	○行竹洋平	事前に担当教員と打ち合わ せること。	随時
2026-F2-09※ <u>絶対重力計</u>	Microg-LaCoste(米国) 2 台 FG5型絶対重力計 公称精度1-2microgal	○今西 祐一	事前に担当教員と打ち合わ せること。	随時
2026-F2-10※ <u>ラコステ重力計</u>	LaCoste&Romberg社(米国)ス 2 台 プリング型相対重力計(陸上用)	○今西 祐一	貸出しの際、必要に応じて 講習を受けること。	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2026-F2-11※ 可搬型強震観測システム	可搬型強震観測システム (SMAR-6A3P改) アンプ搭載筐体 14 台 (センサーは全てアカシ製) アンプ無し筐体 5 台 (センサーは全てアカシ製) ロガー 白山工業製 LS-7000XT 10 台 ※アンプゲインは1, 20, 50, 100倍と0.1, 1, 10,	○古村孝志	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2026-F2-12 火山ガス観測システム	火山ガス観測システム 1 台	○森田雅明	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2026-F2-13 超長周期電磁場測定装置	ウクライナ製フラックスゲート磁力計MT観測 LEMI-417 6 台 テラテクニカ製フラックスゲート磁力計MT観 U43 12 台 U36MD 3 台 UY44 1 台 LEMI:磁場3成分電場4成分を毎秒測定	○白井嘉哉、小 山崇夫、清水久 芳、上嶋誠	事前に担当教員と打ち合わせること。共同観測等で使用中の期間を除く。	随時
2026-F2-14 高精度方位決定ジャイロ 装置	SOKIA社製GP1X手動ジャイロス 1 式 テーション 測定精度は20秒角。	○白井嘉哉、小 山崇夫、清水久 芳、上嶋誠	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2026-F2-15※ 深海用3D流向流速計測 システム	NORTEK社製Aquadopp-6000m 1 台 (https://www.nortek- 上記のドップラー方式流向流速計とチタン球	○塩原 肇	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2026-F2-16 空中計測用機材	DJI社製Zenmuse L2 1 台 DJI社製Zenmuse L3 1 台 Gem Systems社製GSMP-35Uド ローン搭載仕様 メーカーサイトURL Zenmuse L2: https://enterprise.dji.com/jp/zenmuse-l2 Zenmuse L3: https://enterprise.dji.com/jp/zenmuse-l3 GSMP-35U: https://www.gemsys.ca/uav-magnetometers/ 対応ドローン機体 Zenmuse L2: DJI M400, M350RTK, M300RTK + DJI RC Plusコントローラ Zenmuse L3: DJI M400 GSMP-35U : DJI M400, M350RTK, M300RTK	○小山崇夫 大湊隆雄	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時

(室内実験計測装置等)

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2026-F3-01 制御震源装置一式	IVI社製油圧バイブレーター震源 1 式 T-15000	○石山 達也	機器の取り扱いに習熟していること。事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2026-F3-02 日本列島モニタリング研究センター計算機システム	https://eic-support.eri.u-tokyo.ac.jp/ 1 式	○日本列島モニタリング研究センター長	学術研究と認められないもの、本所設置目的から著しく外れているものは利用できない。詳細は本センター	随時
2026-F3-03 岩石破壊実験装置一式 荷重及び変位信号AD変	https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/giuytsubu/iikken/ 1 式	○中谷 正生	事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2026-F3-05 蛍光X線分析装置	RIGAKU社製 1 台 波長分散型蛍光X線分析装置 ZSX Primus II	○安田 敦、前野 深	事前に担当教員と打ち合わせが必要。	—
2026-F3-06※ 地震計測定震動台	エミック社振動試験装置F-1400BD/LAS15 1 台	○新谷 昌人	使用説明と日程等の調整のため事前に担当教員に連絡	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2026-F3-07※ レーザー発振装置	ネオアーク社波長安定化レーザー 1 式 波長633nmの赤色光の安定化レー	○新谷 昌人	事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2026-F3-08 全国地震データ等利用システム装置	全国地震データ等利用システム装置 8 式	○日本列島モニタリング研究センター長	全国の地震波形データ等を整備し提供する装置。地震観測を実施している全国の大学に設置され共同で運用されている。担当教員との相談による。	随時
2026-F3-09 カールフィッシャー水分計	京都電子工業株式会社製 カールフィッシャー水分計(電量 滴定方式) <MKC-610> 1 台 https://www.kyoto-kem.com/en/product- 鉍石用水分気化装置 <ADP-512> 1 台 https://www.kyoto-	○三部 賢治	機器の取り扱いに習熟していること。事前に担当教員との打合せが必要。実験消耗品については各自用意すること。	随時
2026-F3-10 湿式レーザー粒度分析計	Sympatec社製レーザー回折式粒度 1 式 分析装置HELOS/KF-RODOS- QUIXELシステム https://www.sympatec.com/JP/LaserDiffrac	○前野 深	使用説明と日程等の調整のために事前に担当教員との打合せが必要。	随時
2026-F3-11※ 温度計校正器一式	フルーク社 1586A, 9142, 7103他 1 セット 恒温槽 (-30°Cから150°C) や温度	○中谷 正生	使用説明と日程等の調整のため事前に担当教員に連絡	随時
2026-F3-12 大規模連続地震波形データ解析システム	全国の地震波形データを格納し、 1 式 解析する装置。 ユーザ自らがプログラムを作成して解析を行う。最低限のツールのみ用意されている。	○中川 茂樹	装置の利用は事前に担当教員と打ち合わせ、日本列島モニタリング研究センター計算機システム(2026-F3-02)の利用申請を済ませていること。データの利用については、大学間の取り決めに基づいて、別途所要の手続きを行うこと。	随時

※地震研共同利用HPにて、写真やカタログ等、より詳細な情報を掲載しています。

【別表M】2026年度 特定機器 一覧表

本別表に記載の特定機器について、2 ヶ月以上の長期利用を希望する場合には、利用希望年度の前年度に行われる特定機器利用公募に申請してください。2 ヶ月未満の短期利用については、随時、申請を受け付けています。

本施設、機器、装置を利用し、実施された研究に関する論文等を発表される場合は、謝辞に「東京大学地震研究所共同利用により援助を受けた」旨記載してください。また、その別刷（PDF、配布元URL情報でも可）又はデータ等は、本研究所研究支援チーム（共同利用担当）に提出してください。

（謝辞記載例：共同利用コード「202X-M-01」および「202X-M-02」の観測機器を使用した場合）

【英文】：下のいずれか

・ This study was supported by ERI JURP 202X-M-01 and 202X-M-02 in Earthquake Research Institute, the University of Tokyo.

・ This study was funded by Earthquake Res. Inst., the University of Tokyo, Joint Research program 202X-M-01 and 202X-M-02.

【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(202X-M-01,202X-M-02)の援助を受けました。

（特定機器）

共同利用コード 及び機器名称	機器に関する情報 (型番、台数等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2026-M-01 低消費電力型データロガー	HKS-9700a-0505 30 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-02 HKS-9700a-0505専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite Mk II 20 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-03 HKS-9700a-0505専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkIII 10 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-04 小型データ収録装置(ペリカンBOX入り)	LS-8800 52 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-05 LS-8800(ペリカンBOX入り)専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkIII 59 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-06 小型データ収録装置 (青色コンテナ入り)	LS-8800 35 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-07 LS-8800 (青色コンテナ入り)専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkII 35 台	○蔵下 英司		随時

共同利用コード 及び機器名称	機器に関する情報 (型番、台数等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2026-M-08 LS-8800 (青色コンテナ入り) 専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkIII 10 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-09 単チャンネル式高精度データ収録装置	LS-8200SD 175 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-10 LS-8200SD専用地震計 (4.5Hz, 上下動成分)	SG820 175 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-11 独立型地震観測装置	GSX-3 50 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-12 GSX-3専用地震計 (4.5Hz,3成分)	GS-11D-3C 50 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-13 GSX-3専用地震計 (1Hz, 3成分)	GS-1 3C SeisMonitor 2 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-14 地震観測用大容量デジタルレコーダ	DAT5/DAT5A 54 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-15 DAT5/5A専用レナーツ地震計 (1Hz)	LE-3Dlite MkII 51 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-16 DAT5/5A専用レナーツ地震計 (1Hz)	LE-3Dlite MkIII 10 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-17 Nanometrics データロガー	Centaur digital recorder 6 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-18 広帯域地震計	Trillium-120PA 6 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-19 広帯域地震計	Trillium-120QA 15 台	○蔵下 英司		随時
2026-M-20 地震火山観測用計測ユニット (コントローラ)	LF-1100R 9 台	○蔵下 英司		随時

